

平成31年3月14日

泊原発を再稼働させない北海道連絡会 御中

鈴木直道事務所

質問書の回答について

一括して回答致します。

泊原発の再稼働については、ご承知の通り、原子力規制委員会の厳格な審査が今なお継続しており、予断を持って申し上げること自体差し控えたいと思います。

しかし、東日本大震災や胆振東部地震の際の全道ブラックアウトなど、さまざまなエネルギーに関する問題も浮き彫りになっています。中長期的にみると、原発への依存度を少なくしていくべきだという思いを、多くの方々が持っているということも重要視すべきだと考えています。

ただ、再生可能エネルギーや新エネルギーなど、様々な政策が打たれている中、今なお、メリット部分と、例えば不安定さなどのデメリット部分があります。安全で、安価で、安定した電力供給を実現していくため、こうしたことを総合的に考えた中で、再稼働については、しかるべき時に、しかるべき判断をしていくことに尽きると考えています。

また、北海道の防災計画は、国や電力会社はもとより、周辺自治体の関係者の方々とも協議を重ねて策定されたものと認識しておりますが、今後とも実効性を高めるため、実践的な訓練を繰り返すなどして、内容の充実に努める必要があると考えています。